

小規模企業の景況

(2023年10～12月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2023年10～12月期の結果概要は以下の通り。今期(2023年10～12月期、調査基準日:11月15日)の業況判断DIは▲15.6と前回調査から12.0ポイント低下し、3期振りに低下した。売上額DI値は▲5.2(前回調査から12.8ポイント低下)、資金繰りDI値は▲13.5(前回調査から4.5ポイント低下)、従業員過不足DI値は▲12.8(前回調査から▲1.6ポイント低下)となった。「経営上の問題点」では、「原材料価格の上昇」が製造業で9期連続となったほか、「仕入単価の上昇」が卸売業で7期連続・小売業で6期連続、「材料等仕入単価の上昇」がサービス業で4期連続第1位となった。

1. 今期(2023年10～12月期)の状況

【売上額】今期(2023年10～12月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2023年7～9月期)の7.6から12.8ポイント低下し、▲5.2となった。業種別では前回調査から、製造業が10.3ポイント、卸売業が12.9ポイント、小売業が12.1ポイント、サービス業が15.9ポイント、全業種で低下した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲9.0)から4.5ポイント低下し、▲13.5となった。業種別では前回調査から、製造業が6.0ポイント、卸売業が6.4ポイント、小売業が2.1ポイント、サービス業が3.7ポイント、全業種で低下した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲3.6)から12.0ポイント低下し、▲15.6となった。業種別では前回調査から、製造業が6.8ポイント、卸売業が25.8ポイント、小売業が13.1ポイント、サービス業が5.2ポイント、全業種で低下した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲11.2)から▲1.6ポイント低下し、▲12.8となった。業種別では前回調査から、製造業が2.8ポイント、卸売業が3.3ポイント、小売業が2.6ポイントそれぞれ低下し、サービス業は1.9ポイント上昇した。

2. 来期(2024年1～3月期)の予想

来期(2024年1～3月期)の全産業の予想DIは、売上額▲7.3、資金繰り▲15.2、業況判断は▲14.5となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「材料等仕入れ単価の上昇」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2022年10～12月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

【調査の概要】

- ・調査名：第174回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2023年11月1日～11月15日（前回：2023年8月22日～9月1日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,833件中（商工会議所調査対象7,896件）、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）289件について取りまとめた。
- 〔製造業80件、卸売業62件、小売業68件、サービス業79件〕

■DI推移（全産業）

	171回調査	172回調査	173回調査 (前回)		174回調査 (今回)	
	2023年(R5) 1～3月期	2023年(R5) 4～6月期	2023年(R5) 7～9月期	2023年(R5) 10～12月期	2023年(R5) 10～12月期	2024年(R6) 1～3月期
売上額（増-減）	-13.5	6.1	7.6	1.8	-5.2	-7.3
資金繰り（好-悪）	-20.5	-9.3	-9.0	-7.6	-13.5	-15.2
業況（好-悪）	-25.0	-7.2	-3.6	-10.8	-15.6	-14.5
従業員（過-不）	-13.2	-11.8	-11.2	—	-12.8	—

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	23 (23)	仕入単価の上昇 →	21 (26)	仕入単価の上昇 →	21 (17)	材料等仕入単価の上昇 →	16 (13)
2位	需要の停滞 ↑	16 (8)	需要の停滞 →	15 (15)	需要の停滞 ↑	8 (6)	利用者ニーズの変化への対応 →	13 (10)
3位	生産設備の不足・老朽化 →	7 (8)	販売単価の低下・上昇難 →	4 (3)	消費者ニーズの変化への対応 ↓	6 (9)	需要の停滞 →	10 (9)
	製品（加工）単価の低下・上昇難 ↑	7 (5)	大企業の進出による競争の激化 ↑	4 (2)	大型店・中型店の進出による競争の激化 →	6 (8)		
			その他（円安による価格改定の影響、輸入商品のリードタイム長期化による在庫減少等） ↑	4 (2)				

〔注〕（ ）内は前回（2023年7～9月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

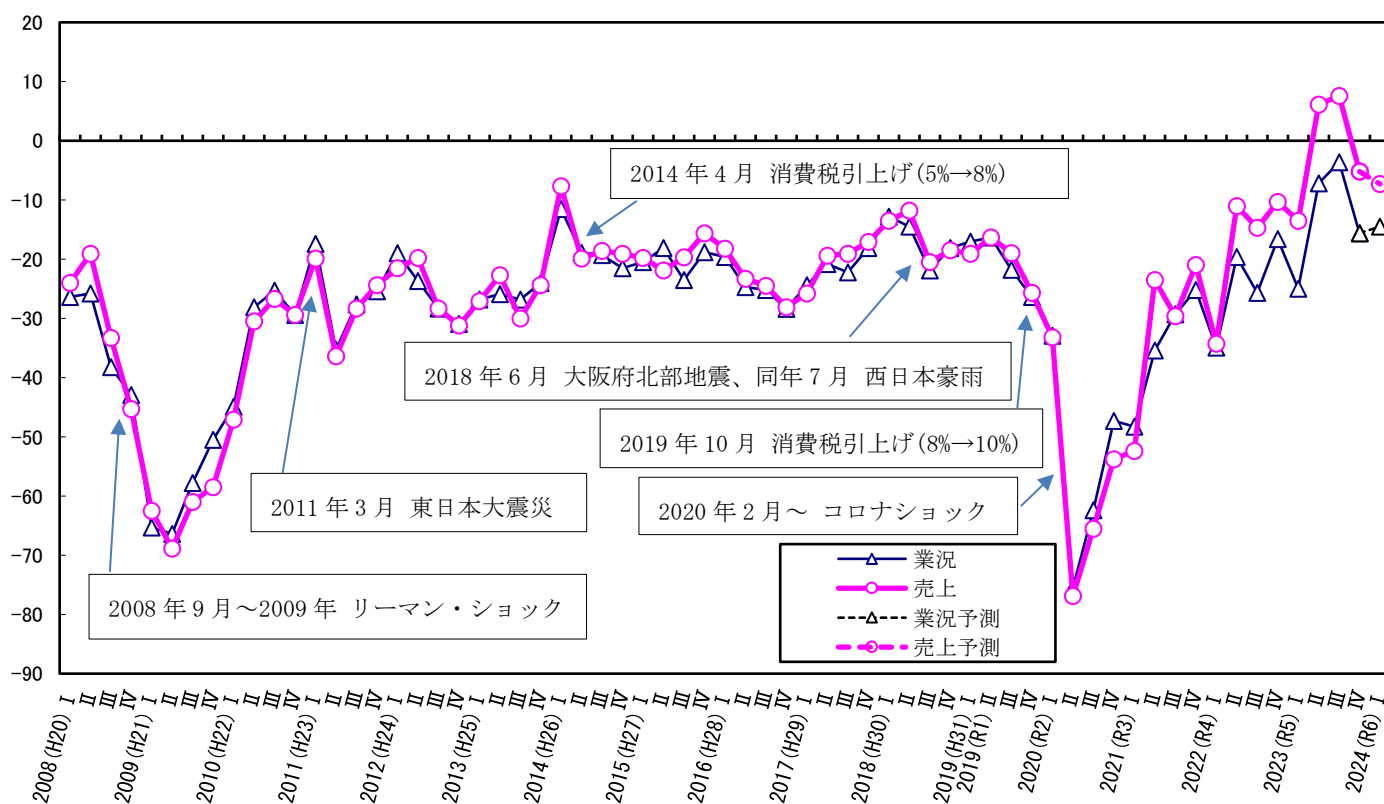
↓ = 前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(10~12月期)				前回(7~9月期)からの推移	来期の予想(1~3月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	27.5	38.8	33.8	▲ 6.3	▲ 10.3	16.3	42.5	41.3	▲ 25.0
	卸売業	25.8	32.3	41.9	▲ 16.1	▲ 12.9	19.4	40.3	40.3	▲ 21.0
	小売業	33.8	27.9	38.2	▲ 4.4	▲ 12.1	36.8	35.3	27.9	8.8
	サービス業	39.2	25.3	35.4	3.8	▲ 15.9	34.2	39.2	26.6	7.6
	合計	31.8	31.1	37.0	▲ 5.2	▲ 12.8	26.6	39.4	33.9	▲ 7.3
	前回	37.4	32.7	29.9	7.6		28.8	44.2	27.0	1.8
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	5.0	77.5	16.3	▲ 11.3	▲ 6.0	2.5	72.5	23.8	▲ 21.3
	卸売業	3.2	77.4	19.4	▲ 16.1	▲ 6.4	0.0	77.4	21.0	▲ 21.0
	小売業	7.4	61.8	29.4	▲ 22.1	▲ 2.1	13.2	60.3	25.0	▲ 11.8
	サービス業	15.2	59.5	21.5	▲ 6.3	▲ 3.7	13.9	60.8	21.5	▲ 7.6
	合計	8.0	68.9	21.5	▲ 13.5	▲ 4.5	7.6	67.5	22.8	▲ 15.2
	前回	7.9	74.1	16.9	▲ 9.0		9.4	72.3	16.9	▲ 7.6
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	16.3	50.0	33.8	▲ 17.5	▲ 6.8	10.0	51.3	35.0	▲ 25.0
	卸売業	9.7	50.0	40.3	▲ 30.6	▲ 25.8	11.3	40.3	37.1	▲ 25.8
	小売業	26.5	30.9	42.6	▲ 16.2	▲ 13.1	22.1	41.2	33.8	▲ 11.8
	サービス業	29.1	40.5	30.4	▲ 1.3	▲ 5.2	22.8	55.7	20.3	2.5
	合計	20.8	42.9	36.3	▲ 15.6	▲ 12.0	16.6	47.8	31.1	▲ 14.5
	前回	23.7	48.2	27.3	▲ 3.6		17.3	51.8	28.1	▲ 10.8
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	0.0	77.5	17.5	▲ 17.5	▲ 2.8				
	卸売業	1.6	85.5	9.7	▲ 8.1	▲ 3.3				
	小売業	1.5	70.6	10.3	▲ 8.8	▲ 2.6				
	サービス業	5.1	72.2	20.3	▲ 15.2	1.9				
	合計	2.1	76.1	14.9	▲ 12.8	▲ 1.6				
	前回	1.8	78.4	12.9	▲ 11.2					

「今期の状況（除従業員）」は2023年10~12月期状況であり、前年同期の2022年10~12月期との比較。来期の予想は2024年1~3月期予想であり、2023年1~3月期との比較である。「前回」欄は2023年7~9月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転-減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2024年 I 予想値